

2021年
3月
MARCH

マルウェアレポート

—— 国内のマルウェア検出状況を解説 ——



はじめに

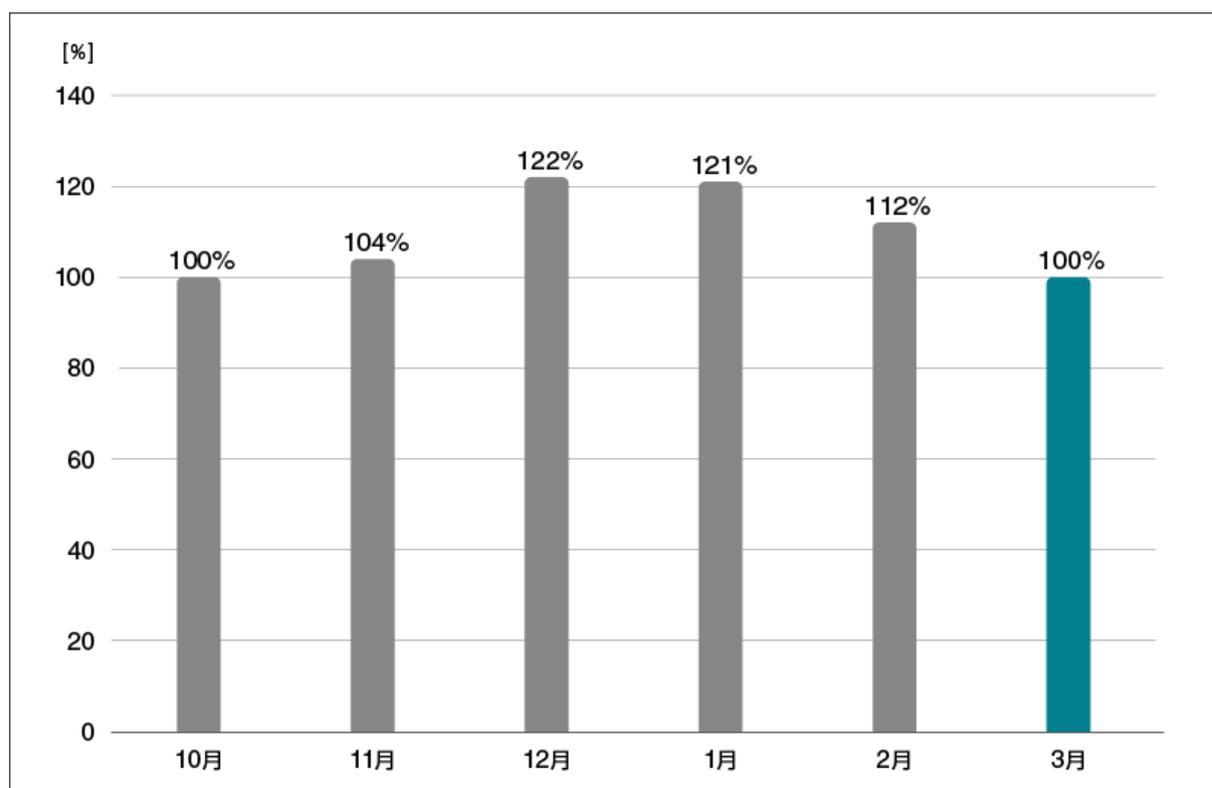
「マルウェアレポート」は、キヤノンマーケティングジャパングループが運営する

「サイバーセキュリティラボ」が「ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ」の

マルウェア検出データを基に国内のマルウェア検出状況を分析し、まとめたレポートです。

ショートレポート「2021年3月マルウェア検出状況」

2021年3月（3月1日～3月31日）にESET製品が国内で検出したマルウェアの検出数の推移は、以下のとおりです。



**国内マルウェア検出数^{*1}の推移
(2020年10月の全検出数を100%として比較)**

*1 検出数にはPUA (Potentially Unwanted/Unsafe Application; 必ずしも悪意があるとは限らないが、コンピューターのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があるアプリケーション)を含めています。

2021年3月の国内マルウェア検出数は、2021年2月に引き続いて減少しています。検出されたマルウェアの内訳は以下のとおりです。

国内マルウェア検出数*2 上位 (2020年3月)

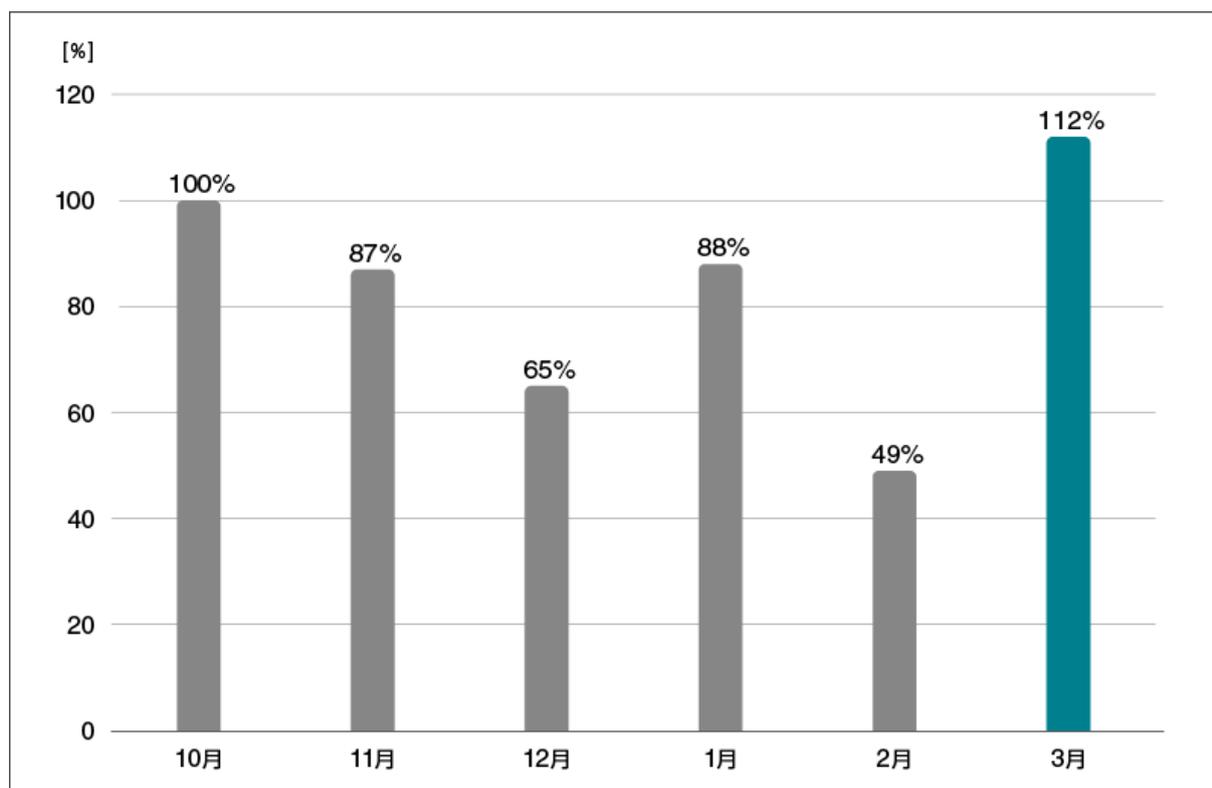
| 順位 | マルウェア | 割合 | 種別 |
|----|----------------------------|-------|------------------------------|
| 1 | JS/Adware.Agent | 17.6% | アドウェア |
| 2 | JS/Adware.Sculinst | 8.6% | アドウェア |
| 3 | HTML/Phishing.Agent | 8.4% | メールに添付された不正な HTML ファイル |
| 4 | JS/Adware.TerraClicks | 5.8% | アドウェア |
| 5 | JS/Adware.Subprop | 4.6% | アドウェア |
| 6 | VBA/TrojanDownloader.Agent | 2.9% | ダウンローダー |
| 7 | HTML/ScrInject | 2.9% | HTML に埋め込まれた不正スクリプト |
| 8 | JS/Adware.PopAds | 1.9% | アドウェア |
| 9 | DOC/Fraud | 1.1% | 詐欺サイトのリンクが埋め込まれた doc ファイル |
| 10 | HTML/FakeAlert | 0.7% | 偽の警告文を表示させる HTML ファイル |

*2 本表には PUA を含めていません。

3月に国内で最も多く検出されたマルウェアは、JS/Adware.Agentでした。

JS/Adware.Agentは、悪意のある広告を表示させるアドウェアの汎用検出名です。Webサイト閲覧時に実行されます。

3月は、大きな警告音と共に偽の警告文を表示させる偽警告詐欺を目的としたHTMLファイルを検出しています。検出数第10位のHTML/FakeAlertは、先月と比較して検出数が増加しています。



直近6か月におけるHTML/FakeAlertの月別推移（国内）
（2020年10月の検出数を100%として比較）

HTML/FakeAlertは、偽の警告文を表示させるHTMLファイルです。Webページにアクセスした際に、大きな警告音と共に偽の警告文を表示させます。偽の警告文は、正規メーカーを騙ったものなどがあります。確認されている警告文の中には、Windows Defenderによるマルウェアの検知を騙った警告文があります。偽の警告文について [Microsoft社](#)や[消費者庁](#)からも注意喚起が行われています。

HTML ファイル内には、画面上に表示させる内容が書かれています。また、上記のサンプルでは動作していませんでしたが、Web ブラウザーの言語設定を読み取ることで表示する内容を変えるコードも書かれていました。表示する言語やメッセージを変更することで、ユーザーにより本物のページと思わせられることや 1 つの HTML ファイルで多くのユーザーを対象にできるメリットがあると考えられます。

```
$.getJSON( [redacted] "JSONの取得先", function(data) {  
    // Setting text of element P with id gfg  
    $("#gfg").html(data.ip);  
});  
$.getJSON( [redacted] "JSONの取得先", function(data) {  
    // Setting text of element P with id gfg  
    $("#location1").html(data.city + ', ' + data.country);  
    $("#country1").html(data.country);  
    $("#isp1").html(data.isp);  
});
```

Web公開されているAPIを利用して
IPアドレス、ISP、国に関する情報を取得

HTML/FakeAlert の別のサンプルに書かれていたコード

他のサンプルでは、アクセスしたユーザーの IP アドレス、ISP や国の情報を画面上に表示させるために情報を取得するコードが書かれているものもありました。取得には、Web 上に公開されている既存の API などを利用して、情報を表示させることでユーザーをパニックにさせ、冷静な判断をさせないためだと考えられます。

ご紹介したように、3月は偽警告詐欺を目的とした HTML ファイルを検出しています。大きい警告音や偽の警告文によって不安を煽る Web サイトが多数確認されています。これらの被害に遭わないためにも、セキュリティ製品を正しく利用することが重要です。併せて、普段利用する Web サイトはブックマークからアクセスするなどの対策も重要です。

また、インターネットに書かれている電話番号へ電話をかける際は、正しい電話番号かどうかを事前に検索することも重要です。

■ 常日頃からリスク軽減するための対策について

各記事でご案内しているようなリスク軽減の対策をご案内いたします。

下記の対策を実施してください。

1. ESET 製品の検出エンジン（ウイルス定義データベース）を最新にアップデートする

ESET 製品では、次々と発生する新たなマルウェアなどに対して逐次対応しております。

最新の脅威に対応できるように、検出エンジン（ウイルス定義データベース）を最新にアップデートしてください。

2. OSのアップデートを行い、セキュリティパッチを適用する

マルウェアの多くは、OSに含まれる「脆弱性」を利用してコンピューターに感染します。「Windows Update」などのOSのアップデートを行い、脆弱性を解消してください。

3. ソフトウェアのアップデートを行い、セキュリティパッチを適用する

マルウェアの多くが狙う「脆弱性」は、Java、Adobe Flash Player、Adobe Readerなどのアプリケーションにも含まれています。

各種アプリのアップデートを行い、脆弱性を解消してください。

4. データのバックアップを行っておく

万が一マルウェアに感染した場合、コンピューターの初期化（リカバリー）などが必要になることがあります。念のため、データのバックアップを行っておいてください。

5. 脅威が存在することを知る

「知らない人」よりも「知っている人」の方がマルウェアに感染するリスクは低いと考えられます。マルウェアという脅威に触れてしまう前に「疑う」ことができるからです。

弊社を始め、各企業・団体からセキュリティに関する情報が発信されています。このような情報に目を向け、「あらかじめ脅威を知っておく」ことも重要です。

※ESETは、ESET, spol. s r.o.の登録商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

引用・出典元

■マルウェア情報局『「Windowsセキュリティシステムが破損」というアラートにご用心』

https://eset-info.canon-its.jp/malware_info/special/detail/200609.html

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社